

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------------|--|----------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 約10年1カ月間(2007年11月2日～2017年11月20日) | |
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ダイワ高金利通貨マザーファンドの受益証券 |
| | ダイワ高金利通貨マザーファンド | 内外の債券および短期金融資産 |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 各国の格付け*、通貨の流動性等を勘案して投資対象通貨を選定します。</p> <p>* 自国通貨建て長期債務格付けがB B B格以上(ムーディーズでB a a 3以上またはS & PでB B B-以上)とします。</p> <p>ロ. 主に金利水準等から10通貨を選定し、3通貨は12.5%程度、4通貨は10%程度、3通貨は7.5%程度に配分します。通貨の選定、配分比率は3カ月をめどに見直します。なお、流動性、市場の状況、ファンダメンタルズ等を勘案した結果、配分が異なる場合があります。</p> <p>ハ. 投資対象とする債券および短期金融資産は残存期間が1年以内、取得時においてA格以上(ムーディーズでA 3以上またはS & PでA-以上)に相当するものとします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持します。</p> <p>ホ. 運用の効率化を図るため、外国為替予約取引等を利用します。</p> | |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | 純資産総額の10%以下 |
| 分配方針 | <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みません。)等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。5月と11月の計算期末については、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮し、基準価額水準に応じて、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p> | |

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ高金利通貨ファンド (毎月決算型) (愛称：金利のチカラ)

運用報告書(全体版)

| | | |
|-------|------|--------------|
| 第115期 | (決算日 | 2017年5月22日) |
| 第116期 | (決算日 | 2017年6月20日) |
| 第117期 | (決算日 | 2017年7月20日) |
| 第118期 | (決算日 | 2017年8月21日) |
| 第119期 | (決算日 | 2017年9月20日) |
| 第120期 | (決算日 | 2017年10月20日) |

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ高金利通貨ファンド(毎月決算型)(愛称：金利のチカラ)」は、このたび、第120期の決算を行ないました。

ここに、第115期～第120期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | | 公社債組入比率 | 純資産総額 |
|--------------------|---------|--------|-------|---------|-------|
| | (分 配 落) | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | |
| | 円 | 円 | % | % | 百万円 |
| 91期末(2015年5月20日) | 5,590 | 25 | 2.6 | 95.7 | 1,513 |
| 92期末(2015年6月22日) | 5,525 | 25 | △ 0.7 | 95.4 | 1,478 |
| 93期末(2015年7月21日) | 5,407 | 25 | △ 1.7 | 96.7 | 1,429 |
| 94期末(2015年8月20日) | 5,177 | 25 | △ 3.8 | 96.4 | 1,345 |
| 95期末(2015年9月24日) | 4,751 | 25 | △ 7.7 | 96.3 | 1,223 |
| 96期末(2015年10月20日) | 4,921 | 25 | 4.1 | 95.8 | 1,252 |
| 97期末(2015年11月20日) | 4,977 | 15 | 1.4 | 96.1 | 1,249 |
| 98期末(2015年12月21日) | 4,803 | 15 | △ 3.2 | 94.3 | 1,153 |
| 99期末(2016年1月20日) | 4,468 | 15 | △ 6.7 | 94.6 | 1,044 |
| 100期末(2016年2月22日) | 4,418 | 15 | △ 0.8 | 95.0 | 1,021 |
| 101期末(2016年3月22日) | 4,534 | 15 | 3.0 | 92.5 | 1,038 |
| 102期末(2016年4月20日) | 4,540 | 15 | 0.5 | 93.4 | 1,032 |
| 103期末(2016年5月20日) | 4,331 | 15 | △ 4.3 | 93.4 | 975 |
| 104期末(2016年6月20日) | 4,200 | 15 | △ 2.7 | 86.6 | 937 |
| 105期末(2016年7月20日) | 4,244 | 15 | 1.4 | 95.4 | 938 |
| 106期末(2016年8月22日) | 4,139 | 15 | △ 2.1 | 95.5 | 909 |
| 107期末(2016年9月20日) | 4,102 | 15 | △ 0.5 | 92.8 | 892 |
| 108期末(2016年10月20日) | 4,195 | 15 | 2.6 | 94.6 | 908 |
| 109期末(2016年11月21日) | 4,249 | 15 | 1.6 | 96.2 | 903 |
| 110期末(2016年12月20日) | 4,471 | 15 | 5.6 | 96.5 | 933 |
| 111期末(2017年1月20日) | 4,441 | 15 | △ 0.3 | 98.2 | 902 |
| 112期末(2017年2月20日) | 4,432 | 15 | 0.1 | 96.7 | 891 |
| 113期末(2017年3月21日) | 4,489 | 15 | 1.6 | 95.8 | 882 |
| 114期末(2017年4月20日) | 4,300 | 15 | △ 3.9 | 96.5 | 818 |
| 115期末(2017年5月22日) | 4,451 | 5 | 3.6 | 96.7 | 844 |
| 116期末(2017年6月20日) | 4,508 | 5 | 1.4 | 96.3 | 836 |
| 117期末(2017年7月20日) | 4,607 | 5 | 2.3 | 95.8 | 822 |
| 118期末(2017年8月21日) | 4,487 | 5 | △ 2.5 | 84.8 | 781 |
| 119期末(2017年9月20日) | 4,613 | 5 | 2.9 | 71.7 | 784 |
| 120期末(2017年10月20日) | 4,585 | 5 | △ 0.5 | 55.2 | 749 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

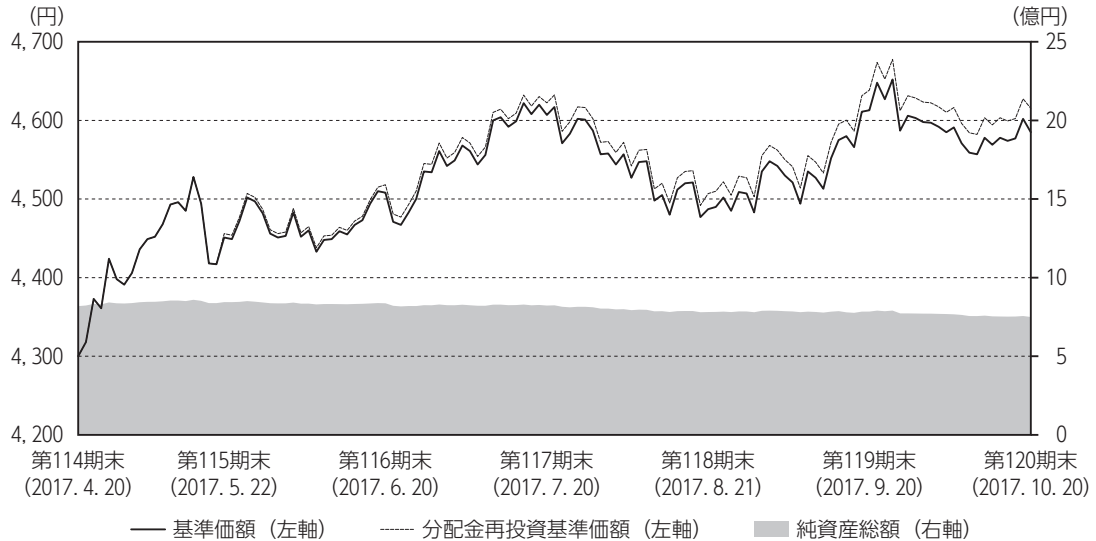
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、投資対象通貨およびその配分比率を3カ月をめぐりに見直します。そのため、当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

基準価額・騰落率

第115期首：4,300円

第120期末：4,585円（既払分配金30円）

騰落率：7.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

債券価格については、当ファンドが投資している債券の残存期間が短いことから値動きは限定的でしたが、利息収入については、安定的に基準価額の上昇に寄与しました。また、投資している通貨の為替相場が総じて円に対して上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高金利通貨ファンド（毎月決算型）

| | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 公社債組入比率 |
|-------|------------------|---------|------------|---------|
| | | 円 | 騰 落 率 % | |
| 第115期 | (期首) 2017年 4月20日 | 4,300 | — | 96.5 |
| | 4月末 | 4,391 | 2.1 | 96.8 |
| | (期末) 2017年 5月22日 | 4,456 | 3.6 | 96.7 |
| 第116期 | (期首) 2017年 5月22日 | 4,451 | — | 96.7 |
| | 5月末 | 4,451 | 0.0 | 97.0 |
| | (期末) 2017年 6月20日 | 4,513 | 1.4 | 96.3 |
| 第117期 | (期首) 2017年 6月20日 | 4,508 | — | 96.3 |
| | 6月末 | 4,542 | 0.8 | 97.1 |
| | (期末) 2017年 7月20日 | 4,612 | 2.3 | 95.8 |
| 第118期 | (期首) 2017年 7月20日 | 4,607 | — | 95.8 |
| | 7月末 | 4,557 | △ 1.1 | 86.4 |
| | (期末) 2017年 8月21日 | 4,492 | △ 2.5 | 84.8 |
| 第119期 | (期首) 2017年 8月21日 | 4,487 | — | 84.8 |
| | 8月末 | 4,548 | 1.4 | 83.2 |
| | (期末) 2017年 9月20日 | 4,618 | 2.9 | 71.7 |
| 第120期 | (期首) 2017年 9月20日 | 4,613 | — | 71.7 |
| | 9月末 | 4,598 | △ 0.3 | 72.4 |
| | (期末) 2017年10月20日 | 4,590 | △ 0.5 | 55.2 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2017. 4. 21 ～ 2017. 10. 20）

■ 海外短期債券市況

米国では、堅調な雇用市場を背景に政策金利の引き上げが行なわれ、メキシコやカナダにおいても政策金利が引き上げられました。一方で、南アフリカでは、低成長とインフレ率の鈍化を背景に政策金利の引き下げが行なわれました。

■ 為替相場

投資している通貨は総じて対円で上昇しました。地政学リスクの高まりに対する懸念から円高となる局面もありましたが、世界経済が安定した推移となり、先進国における金融政策の正常化の流れの中で金利差に着目した動きが広まり、円安となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ高金利通貨マザーファンド」の受益証券に投資することを通して短期の公社債を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

■ ダイワ高金利通貨マザーファンド

主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、残存期間1年以内の外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

■当ファンド

「ダイワ高金利通貨マザーファンド」の受益証券に投資することを通して短期の公社債を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

■ダイワ高金利通貨マザーファンド

投資対象通貨の中から相対的に金利水準の高い10通貨を選定し、残存期間1年以内の短期債券に投資しました。また、ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持しました。組入債券の格付けについては、取得時A格以上としました。

【当作成期間の選定通貨と通貨別配分比率】

- (1) 第115期首～2017年4月末
 - (12.5%) 南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、マレーシア・リングgit
 - (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、韓国ウォン
 - (7.5%) 米ドル、ノルウェー・クローネ、香港ドル
- (2) 2017年5月初め～2017年7月末
 - (12.5%) 南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、マレーシア・リングgit
 - (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、韓国ウォン
 - (7.5%) 米ドル、シンガポール・ドル、ノルウェー・クローネ
- (3) 2017年8月初め～第120期末
 - (12.5%) メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランド、マレーシア・リングgit
 - (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、米ドル
 - (7.5%) カナダ・ドル、韓国ウォン、シンガポール・ドル

(注) 為替や組入資産価格の変動などにより、実際の組入比率は異なることがあります。当ファンドでは、運用の効率化を図るため、外国為替予約取引等を利用しておりますので、通貨配分比率と外国公社債の通貨別組入比率が大きく異なる場合があります。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

第115期～第120期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ5円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

| 項 目 | 第115期 | 第116期 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 |
|---------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| | 2017年4月21日 ～2017年5月22日 | 2017年5月23日 ～2017年6月20日 | 2017年6月21日 ～2017年7月20日 | 2017年7月21日 ～2017年8月21日 | 2017年8月22日 ～2017年9月20日 | 2017年9月21日 ～2017年10月20日 |
| 当期分配金（税込み）（円） | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 対基準価額比率（％） | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.11 |
| 当期の収益（円） | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 4 |
| 当期の収益以外（円） | — | — | — | — | — | 0 |
| 翌期繰越分配対象額（円） | 29 | 36 | 43 | 47 | 52 | 51 |

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

| 項 目 | 第115期 | 第116期 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 |
|-----------------------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 12.80円 | 11.63円 | 12.33円 | 8.62円 | 9.80円 | 4.13円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| (c) 収益調整金 | 22.14 | 22.15 | 22.15 | 22.16 | 22.16 | 22.17 |
| (d) 分配準備積立金 | 0.00 | 7.80 | 14.44 | 21.77 | 25.39 | 30.19 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 34.95 | 41.59 | 48.93 | 52.55 | 57.36 | 56.50 |
| (f) 分配金 | 5.00 | 5.00 | 5.00 | 5.00 | 5.00 | 5.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 29.95 | 36.59 | 43.93 | 47.55 | 52.36 | 51.50 |

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

2017年11月20日の満期償還に向けて安定運用に移行する予定です。

■ダイワ高金利通貨マザーファンド

ベビーファンドの満期償還を受けて、当ファンドも2017年11月17日の繰上償還に向けて、安定運用に移行する予定です。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 第115期～第120期 (2017. 4. 21～2017. 10. 20) | | 項 目 の 概 要 |
|-----------|---|---------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 22円 | 0.496% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,522円です。 |
| (投 信 会 社) | (10) | (0.232) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (11) | (0.243) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 銀 行) | (1) | (0.021) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売買委託手数料 | — | — | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税 | — | — | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 3 | 0.057 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (2) | (0.052) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合 計 | 25 | 0.553 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ高金利通貨ファンド（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年4月21日から2017年10月20日まで)

| 決算期 | 第115期～第120期 | | | |
|-----------------|-------------|----|---------|---------|
| | 設定 | | 解約 | |
| | □数 | 金額 | □数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ダイワ高金利通貨マザーファンド | — | — | 148,218 | 130,238 |

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第115期～第120期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種類 | 第114期末 | | 第120期末 | |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| | □数 | 金額 | □数 | 評価額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| ダイワ高金利通貨マザーファンド | 985,793 | 837,575 | 837,575 | 746,949 |

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年5月22日)、(2017年6月20日)、(2017年7月20日)、(2017年8月21日)、(2017年9月20日)、(2017年10月20日)現在

| 項目 | 第115期末 | 第116期末 | 第117期末 | 第118期末 | 第119期末 | 第120期末 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (A) 資産 | 845,897,657円 | 839,869,737円 | 825,427,013円 | 783,146,961円 | 785,645,141円 | 755,333,590円 |
| コール・ローン等 | 5,773,414 | 5,573,732 | 5,494,821 | 5,334,710 | 5,052,244 | 5,083,463 |
| ダイワ高金利通貨マザーファンド（評価額） | 840,124,243 | 832,743,995 | 818,370,214 | 777,386,099 | 780,508,526 | 746,949,541 |
| 未収入金 | — | 1,552,010 | 1,561,978 | 426,152 | 84,371 | 3,300,586 |
| (B) 負債 | 1,686,771 | 3,111,372 | 3,084,087 | 1,935,441 | 1,565,849 | 5,700,509 |
| 未払収益分配金 | 948,390 | 928,036 | 892,457 | 870,606 | 849,892 | 817,569 |
| 未払解約金 | — | 1,510,503 | 1,501,500 | 346,286 | 48,902 | 4,223,479 |
| 未払信託報酬 | 732,428 | 661,505 | 673,329 | 696,089 | 639,394 | 626,701 |
| その他未払費用 | 5,953 | 11,328 | 16,801 | 22,460 | 27,661 | 32,760 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 844,210,886 | 836,758,365 | 822,342,926 | 781,211,520 | 784,079,292 | 749,633,081 |
| 元本 | 1,896,781,955 | 1,856,072,731 | 1,784,914,458 | 1,741,212,168 | 1,699,784,378 | 1,635,138,627 |
| 次期繰越損益金 | △ 1,052,571,069 | △ 1,019,314,366 | △ 962,571,532 | △ 960,000,648 | △ 915,705,086 | △ 885,505,546 |
| (D) 受益権総口数 | 1,896,781,955口 | 1,856,072,731口 | 1,784,914,458口 | 1,741,212,168口 | 1,699,784,378口 | 1,635,138,627口 |
| 1万口当り基準価額（C/D） | 4,451円 | 4,508円 | 4,607円 | 4,487円 | 4,613円 | 4,585円 |

* 第114期末における元本額は1,904,011,214円、当作成期間（第115期～第120期）中における追加設定元本額は3,442,859円、同解約元本額は272,315,446円です。

* 第120期末の計算口数当りの純資産額は4,585円です。

* 第120期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は885,505,546円です。

■投資信託財産の構成

2017年10月20日現在

| 項目 | 第120期末 | |
|-----------------|---------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| ダイワ高金利通貨マザーファンド | 746,949 | 98.9 |
| コール・ローン等、その他 | 8,384 | 1.1 |
| 投資信託財産総額 | 755,333 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝112.77円、1カナダ・ドル＝90.29円、1オーストラリア・ドル＝88.76円、100韓国ウォン＝10.01円、1マレーシア・リンギット＝26.71円です。

(注3) ダイワ高金利通貨マザーファンドにおいて、第120期末における外貨建純資産（563,790千円）の投資信託財産総額（755,599千円）に対する比率は、74.6%です。

■損益の状況

| 項 目 | 第115期 | 第116期 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| (A) 配当等収益 | △ 254円 | △ 211円 | △ 202円 | △ 204円 | △ 199円 | △ 148円 |
| 受取利息 | — | — | — | — | 2 | 2 |
| 支払利息 | △ 254 | △ 211 | △ 202 | △ 204 | △ 201 | △ 150 |
| (B) 有価証券売買損益 | 30,239,156 | 12,260,154 | 19,236,391 | △ 19,424,855 | 22,948,696 | △ 3,176,367 |
| 売買益 | 30,358,770 | 12,354,123 | 19,521,177 | 197,233 | 23,191,424 | 205,609 |
| 売買損 | △ 119,614 | △ 93,969 | △ 284,786 | △ 19,622,088 | △ 242,728 | △ 3,381,976 |
| (C) 信託報酬等 | △ 738,386 | △ 666,880 | △ 678,802 | △ 701,748 | △ 644,595 | △ 631,800 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | 29,500,516 | 11,593,063 | 18,557,387 | △ 20,126,807 | 22,303,902 | △ 3,808,315 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 889,773,621 | △ 842,544,740 | △ 799,803,243 | △ 762,811,564 | △ 764,971,003 | △ 715,063,931 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 191,349,574 | △ 187,434,653 | △ 180,433,219 | △ 176,191,671 | △ 172,188,093 | △ 165,815,731 |
| (配当等相当額) | (4,201,147) | (4,111,481) | (3,954,635) | (3,858,866) | (3,768,285) | (3,626,294) |
| (売買損益相当額) | (△ 195,550,721) | (△ 191,546,134) | (△ 184,387,854) | (△ 180,050,537) | (△ 175,956,378) | (△ 169,442,025) |
| (G) 合計 (D + E + F) | △ 1,051,622,679 | △ 1,018,386,330 | △ 961,679,075 | △ 959,130,042 | △ 914,855,194 | △ 884,687,977 |
| (H) 収益分配金 | △ 948,390 | △ 928,036 | △ 892,457 | △ 870,606 | △ 849,892 | △ 817,569 |
| 次期繰越損益金 (G + H) | △ 1,052,571,069 | △ 1,019,314,366 | △ 962,571,532 | △ 960,000,648 | △ 915,705,086 | △ 885,505,546 |
| 追加信託差損益金 | △ 191,349,574 | △ 187,434,653 | △ 180,433,219 | △ 176,191,671 | △ 172,188,093 | △ 165,815,731 |
| (配当等相当額) | (4,201,147) | (4,111,481) | (3,954,635) | (3,858,866) | (3,768,285) | (3,626,294) |
| (売買損益相当額) | (△ 195,550,721) | (△ 191,546,134) | (△ 184,387,854) | (△ 180,050,537) | (△ 175,956,378) | (△ 169,442,025) |
| 分配準備積立金 | 1,480,833 | 2,680,964 | 3,887,315 | 4,422,281 | 5,133,059 | 4,795,463 |
| 繰越損益金 | △ 862,702,328 | △ 834,560,677 | △ 786,025,628 | △ 788,231,258 | △ 748,650,052 | △ 724,485,278 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

| 項 目 | 第115期 | 第116期 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 |
|-----------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 2,429,223円 | 2,160,280円 | 2,202,184円 | 1,501,628円 | 1,666,955円 | 676,406円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (c) 収益調整金 | 4,201,147 | 4,111,481 | 3,954,635 | 3,858,866 | 3,768,285 | 3,626,294 |
| (d) 分配準備積立金 | 0 | 1,448,720 | 2,577,588 | 3,791,259 | 4,315,996 | 4,936,626 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 6,630,370 | 7,720,481 | 8,734,407 | 9,151,753 | 9,751,236 | 9,239,326 |
| (f) 分配金 | 948,390 | 928,036 | 892,457 | 870,606 | 849,892 | 817,569 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f) | 5,681,980 | 6,792,445 | 7,841,950 | 8,281,147 | 8,901,344 | 8,421,757 |
| (h) 受益権総口数 | 1,896,781,955口 | 1,856,072,731口 | 1,784,914,458口 | 1,741,212,168口 | 1,699,784,378口 | 1,635,138,627口 |

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 万口当り分配金 | 第115期 | 第116期 | 第117期 | 第118期 | 第119期 | 第120期 |
| | 5円 | 5円 | 5円 | 5円 | 5円 | 5円 |
| （単 価） | （4, 451円） | （4, 508円） | （4, 607円） | （4, 487円） | （4, 613円） | （4, 585円） |

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ高金利通貨マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2017年10月20日)

(計算期間 2016年10月21日～2017年10月20日)

ダイワ高金利通貨マザーファンドの第10期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要投資対象 | 内外の債券および短期金融資産 |
| 運用方法 | <p>①主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 各国の格付け*、通貨の流動性等を勘案して投資対象通貨を選定します。 * 自国通貨建て長期債務格付けがB B B格以上（ムーディーズでB a a 3以上またはS & PでB B B-以上）とします。</p> <p>ロ. 主に金利水準等から10通貨を選定し、3通貨は12.5%程度、4通貨は10%程度、3通貨は7.5%程度に配分します。通貨の選定、配分比率は3カ月をめどに見直します。なお、流動性、市場の状況、ファンダメンタルズ等を勘案した結果、配分が異なる場合があります。</p> <p>ハ. 投資対象とする債券および短期金融資産は残存期間が1年以内、取得時においてA格以上（ムーディーズでA 3以上またはS & PでA-以上）に相当するものとします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持します。</p> <p>ホ. 運用の効率化を図るため、外国為替予約取引等を利用します。</p> |
| 株式組入制限 | 純資産総額の10%以下 |

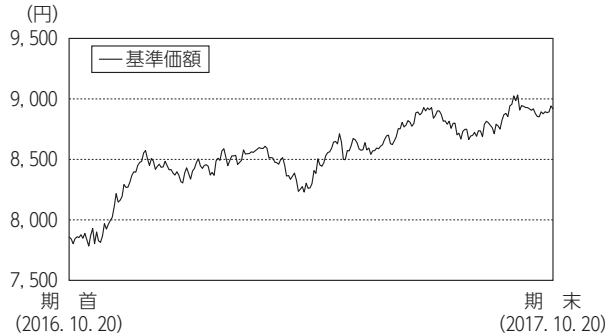
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：7,858円 期末：8,918円 騰落率：13.5%

【基準価額の主な変動要因】

債券価格については、当ファンドが投資している債券の残存期間が短いことから値動きは限定的でしたが、利息収入については、安定的に基準価額の上昇に寄与しました。また、投資している通貨の為替相場が総じて円に対して上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

◆投資環境について

○海外短期債券市況

米国、メキシコ、香港、カナダでは政策金利が引き上げられました。米国では、堅調な雇用市場を背景に複数回利上げが行なわれました。一方、ニュージーランドおよび南アフリカでは政策金利が引き下げられました。低成長とインフレ率の低下が南アフリカの利下げにつながりました。

○為替相場

投資している通貨は総じて対円で上昇しました。2016年11月の米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の景気対策への期待感などから投資家心理が改善し、高金利通貨である各通貨とも対円で上昇傾向となりました。2017年に入ってからは、トランプ政権の政策実行能力への懐疑的な見方が広がったことや、シリアや北朝鮮情勢が緊迫化したことなどにより、一時円高傾向となりました。しかし、世界経済が安定した推移となり、先進国における金融政策の正常化の流れの中で金利差に着目した動きが広まり、再度円安基調となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として相対的に金利水準の高い複数の通貨を選定し、残存期間1年以内の外貨建ての債券および短期金融資産に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

◆ポートフォリオについて

投資対象通貨の中から相対的に金利水準の高い10通貨を選定し、残存期間1年以内の短期債券に投資しました。また、ポートフォリオの平均残存期間は180日程度以内に維持しました。組入債券の格付けについては、取得時A格以上としました。

【当期の選定通貨と通貨別配分比率】

- (1) 期首～2016年10月末
 - (12.5%) 南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、マレーシア・リンギット
 - (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、韓国ウォン
 - (7.5%) ノルウェー・クローネ、カナダ・ドル、シンガポール・ドル
- (2) 2016年11月初め～2017年1月末
 - (12.5%) 南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、マレーシア・リンギット
 - (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、韓国ウォン
 - (7.5%) ノルウェー・クローネ、カナダ・ドル、米ドル
- (3) 2017年2月初め～2017年4月末
 - (12.5%) 南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、マレーシア・リンギット
 - (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、韓国ウォン
 - (7.5%) 米ドル、ノルウェー・クローネ、香港ドル

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 公 社 債 組入比率 |
|-----------------|---------|-------|---------------|
| | 円 | % | |
| (期首)2016年10月20日 | 7,858 | — | 95.0 |
| 10月末 | 7,848 | △ 0.1 | 96.3 |
| 11月末 | 8,192 | 4.3 | 97.3 |
| 12月末 | 8,438 | 7.4 | 96.9 |
| 2017年1月末 | 8,447 | 7.5 | 95.2 |
| 2月末 | 8,475 | 7.9 | 96.2 |
| 3月末 | 8,514 | 8.3 | 97.6 |
| 4月末 | 8,443 | 7.4 | 97.2 |
| 5月末 | 8,575 | 9.1 | 97.4 |
| 6月末 | 8,768 | 11.6 | 97.5 |
| 7月末 | 8,815 | 12.2 | 86.9 |
| 8月末 | 8,815 | 12.2 | 83.6 |
| 9月末 | 8,929 | 13.6 | 72.7 |
| (期末)2017年10月20日 | 8,918 | 13.5 | 55.4 |

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、投資対象通貨およびその配分比率を3カ月をめぐりに見直します。当ファンドの値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

- (4) 2017年5月初め～2017年7月末
 (12.5%) 南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、マレーシア・リングギット
 (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、韓国ウォン
 (7.5%) 米ドル、シンガポール・ドル、ノルウェー・クローネ
- (5) 2017年8月初め～期末
 (12.5%) メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランド、マレーシア・リングギット
 (10.0%) ニュージーランド・ドル、オーストラリア・ドル、ポーランド・ズロチ、米ドル
 (7.5%) カナダ・ドル、韓国ウォン、シンガポール・ドル

(注) 為替や組入資産価格の変動などにより、実際の組入比率は異なることがあります。当ファンドでは、運用の効率化を図るため、外国為替予約取引等を利用しておりますので、通貨配分比率と外国公社債の通貨別組入比率が大きく異なる場合があります。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

2017年11月17日の繰上償還に向けて安定運用に移行する予定です。

■1万口当りの費用の明細

| 項目 | 当期 |
|---------|------|
| 売買委託手数料 | 一円 |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 | 9 |
| (保管費用) | (9) |
| (その他) | (0) |
| 合計 | 9 |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2016年10月21日から2017年10月20日まで)

| | | 買付額 | 売付額 |
|-----------|--------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 外 | アメリカ | 千アメリカ・ドル 国債証券 1,102 | 千アメリカ・ドル 100 (—) |
| | | 特殊債券 302 | (—) 300 |
| | | 社債券 1,713 | (—) 1,410 |
| | カナダ | 千カナダ・ドル 社債券 1,001 | 千カナダ・ドル — (500) |
| | オーストラリア | 千オーストラリア・ドル 国債証券 350 | 千オーストラリア・ドル — (350) |
| | | 特殊債券 3,047 | (—) 1,580 |
| 社債券 1,828 | | 422 (5,760) | |
| メキシコ | 千メキシコ・ペソ 国債証券 19,417 | 千メキシコ・ペソ 996 (38,200) | |
| 韓国 | 千韓国ウォン 国債証券 1,459,536 | 千韓国ウォン 751,239 (1,630,000) | |
| 国 | マレーシア | 千マレーシア・リングギット 国債証券 6,818 | 千マレーシア・リングギット 801 (6,900) |
| 南アフリカ | 千南アフリカ・ランド 特殊債券 6,381 | 千南アフリカ・ランド — (14,600) | |
| | 社債券 — | (—) 5,850 | |
| ポーランド | 千ポーランド・ズロチ 国債証券 3,857 | 千ポーランド・ズロチ — (7,580) | |

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

ダイワ高金利通貨マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年10月21日から2017年10月20日まで)

| 当 | | 期 | |
|---|----------|--|---------|
| 買 | 付 | 売 | 付 |
| 銘 柄 | 金 額 | 銘 柄 | 金 額 |
| | 千円 | | 千円 |
| TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 3.5% 2017/11/17 | 128, 778 | KOREA TREASURY BOND (韓国) 2% 2017/12/10 | 50, 081 |
| United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.875% 2017/10/31 | 123, 160 | KOREA TREASURY BOND (韓国) 5.5% 2017/9/10 | 19, 778 |
| Mexican Bonos (メキシコ) 5% 2017/6/15 | 109, 322 | AUST & NZ BANK (オーストラリア) 5% 2017/7/25 | 19, 079 |
| Poland Government Bond (ポーランド) 2017/7/25 | 102, 347 | GE Capital Australia Funding Pty Ltd (オーストラリア) 5.75% 2017/2/17 | 17, 103 |
| MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.314% 2017/10/31 | 93, 337 | MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.012% 2017/9/15 | 12, 902 |
| MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 4.012% 2017/9/15 | 84, 056 | United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.875% 2017/10/31 | 11, 230 |
| KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 3.75% 2017/8/10 | 71, 271 | MALAYSIAN GOVERNMENT (マレーシア) 3.814% 2017/2/15 | 7, 715 |
| BHP Billiton Finance Ltd (オーストラリア) 3.75% 2017/10/18 | 60, 566 | Mexican Bonos (メキシコ) 5% 2017/6/15 | 5, 822 |
| KOREA TREASURY BOND (韓国) 5.5% 2017/9/10 | 55, 142 | KOREA TREASURY BOND (韓国) 3.5% 2017/3/10 | 4, 882 |
| KOREA TREASURY BOND (韓国) 2% 2017/12/10 | 49, 546 | | |

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

| 区 分 | 額 面 金 額 | 当 期 | | 組入比率 | うちBB格 以下組入 率 | 残存期間別組入比率 | | |
|---------|------------------------|------------------------|----------------|-----------|--------------------|-----------|--------|-----------|
| | | 評 価 額 | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | | | | |
| アメリカ | 千アメリカ・ドル 1, 300 | 千アメリカ・ドル 1, 300 | 千円 146, 631 | % 19.6 | % — | % — | % — | % 19.6 |
| カナダ | 千カナダ・ドル 500 | 千カナダ・ドル 500 | 45, 147 | 6.0 | — | — | — | 6.0 |
| オーストラリア | 千オーストラリア・ドル 1, 450 | 千オーストラリア・ドル 1, 452 | 128, 886 | 17.3 | — | — | — | 17.3 |
| マレーシア | 千マレーシア・リンギット 3, 500 | 千マレーシア・リンギット 3, 500 | 93, 494 | 12.5 | — | — | — | 12.5 |
| 合 計 | — | — | 414, 159 | 55.4 | — | — | — | 55.4 |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

| 区 分 | 銘 柄 | 種 類 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 償 還 年 月 日 |
|---------|----------------------------------|------------|----------|-----------------------|-----------------------|---------|------------|
| | | | | | 外 貨 建 金 額 | | |
| | | | | | 千円 | 千円 | |
| アメリカ | United States Treasury Note/Bond | 国債証券 | 1.8750 % | 千アメリカ・ドル 1,000 | 千アメリカ・ドル 1,000 | 112,800 | 2017/10/31 |
| | Diageo Capital PLC | 社 債 券 | 5.7500 | 300 | 300 | 33,831 | 2017/10/23 |
| 通貨小計 | 銘柄数 金 額 | 2銘柄 | | | 1,300 | 146,631 | |
| カナダ | Lower Mattagami Energy LP | 社 債 券 | 2.2280 | 千カナダ・ドル 500 | 千カナダ・ドル 500 | 45,147 | 2017/10/23 |
| | 通貨小計 | 銘柄数 金 額 | 1銘柄 | 500 | 500 | 45,147 | |
| オーストラリア | TREASURY CORP VICTORIA | 特殊債券 | 3.5000 | 千オーストラリア・ドル 1,450 | 千オーストラリア・ドル 1,452 | 128,886 | 2017/11/17 |
| | 通貨小計 | 銘柄数 金 額 | 1銘柄 | 1,450 | 1,452 | 128,886 | |
| マレーシア | MALAYSIAN GOVERNMENT | 国債証券 | 3.3140 | 千マレーシア・リンギット 3,500 | 千マレーシア・リンギット 3,500 | 93,494 | 2017/10/31 |
| | 通貨小計 | 銘柄数 金 額 | 1銘柄 | 3,500 | 3,500 | 93,494 | |
| 合 計 | 銘柄数 金 額 | 5銘柄 | | | | 414,159 | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年10月20日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 千円 414,159 | % 54.8 |
| コール・ローン等、その他 | 341,440 | 45.2 |
| 投資信託財産総額 | 755,599 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.77円、1カナダ・ドル=90.29円、1オーストラリア・ドル=88.76円、100韓国ウォン=10.01円、1マレーシア・リンギット=26.71円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(563,790千円)の投資信託財産総額(755,599千円)に対する比率は、74.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年10月20日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|----------------|
| (A) 資産 | 1,370,047,186円 |
| コール・ローン等 | 282,174,850 |
| 公社債 (評価額) | 414,159,098 |
| 未収入金 | 667,547,407 |
| 未収利息 | 1,337,443 |
| 前払費用 | 4,828,388 |
| (B) 負債 | 623,083,187 |
| 未払金 | 619,782,601 |
| 未払解約金 | 3,300,586 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 746,963,999 |
| 元本 | 837,575,176 |
| 次期繰越損益金 | △ 90,611,177 |
| (D) 受益権総口数 | 837,575,176口 |
| 1万口当り基準価額 (C / D) | 8,918円 |

* 期首における元本額は1,151,225,872円、当期中における追加設定元本額は186,383円、同解約元本額は313,837,079円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ高金利通貨ファンド (毎月決算型) 837,575,176円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,918円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は90,611,177円です。

ダイワ高金利通貨マザーファンド

■損益の状況

当期 自2016年10月21日 至2017年10月20日

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------|---------------|
| (A) 配当等収益 | 30,423,860円 |
| 受取利息 | 30,444,238 |
| 支払利息 | △ 20,378 |
| (B) 有価証券売買損益 | 81,089,316 |
| 売買益 | 179,728,251 |
| 売買損 | △ 98,638,935 |
| (C) その他費用 | △ 877,433 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | 110,635,743 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 246,596,173 |
| (F) 解約差損益金 | 45,378,764 |
| (G) 追加信託差損益金 | △ 29,511 |
| (H) 合計 (D + E + F + G) | △ 90,611,177 |
| 次期繰越損益金 (H) | △ 90,611,177 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。